

平成 27 年 度 学 校 評 価 実 施 報 告 書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
生徒の多様なニーズに対応した教育課程の編成をさらに進めるとともに、進路希望の実現に向けた発展的学習等に取り組みやすい編成を工夫する。	<p>①必修選択科目の設置及び配置を整理し、進路希望や生徒の多様な学習ニーズに対応する教育課程編成を検討する。</p> <p>②学校設定科目の設置や選択科目配置の工夫をさらに進め、発展的学習が可能となる教育課程編成を検討する。</p>	<p>①幅広い希望に応じた必修選択科目の設置及び配置ができたか。</p> <p>②発展的学習が可能となる学校設定科目の工夫ができたか。</p>	<p>①必修科目の設置及び配置を見直し、数学Ⅰとコミュニケーション英語Ⅰを中心に検討し変更した。</p> <p>②学校設定科目の配置を見直し、選択帯の改善をした。また、英語科・社会科で新しい学校設定科目を設定した。</p>	<p>①さらに生徒のニーズや進路希望に応じた教育課程を目指す。</p> <p>②今回の見直しによる生徒の発展的学習への効果を見極める必要がある。</p>	<p>(保護者)</p> <p>①生徒の進路や適性を考えた教育が行われている。 (学校評議員)</p> <p>①生徒には1年から進路を見据えた学習を期待する。 (その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>本目標に対して、評価の観点から目標は概ね達成されたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必修科目の設置及び配置をさらに整理し、変更した。 学校設定科目の配置を見直し、新たな学校設定科目を設定した。(改善方策等) 引き続き、生徒のニーズや進路希望に応じた教育課程を目指す。 今回の見直しによる生徒の発展的学習への効果を見極める。
生徒が主体的に生徒会活動や部活動に取り組める学校づくりを進めるとともに、様々な悩みや課題に対応できる相談体制を充実させ、安全・安心な中で学習できる環境を整備する。	<p>①生徒が自ら考え、積極的に活動できるような生徒会活動や部活動への支援体制をさらに整備・充実させる。</p> <p>②スクールカウンセラーや教育相談コーディネーターを活用した組織的な教育相談体制を整備し、打ち合わせ、学年会、職員会議の場などあらゆる会議の場を活用しながら、学校全体で情報を共有し解決を図っていく。</p>	<p>①各種行事・生徒会活動・部活動への生徒の参加状況が向上したか。また、自主的な活動となっているか。</p> <p>②生徒や保護者により多くの相談機会が提供できたか。また、教育相談コーディネーターによるケース会議を開催し、あらゆる会議の場を通じて学校全体で共有した情報のもとに、生徒を支援できたか。</p>	<p>①部活動への加入生徒数は微増している。体育祭・文化祭における活動の自主性も高まっている。</p> <p>②スクールカウンセラーによるカウンセリングを毎月実施し、継続的な相談を希望している生徒に対応した。コア・ケース会議を定期的に設定し、さらに必要に応じてケース会議を設定して学年と教科担当、全職員で情報を共有した。</p>	<p>①運動部の加入率が上がってきているので、活動の内容の充実が求められてきている。指導しやすい体制づくりを目指す。</p> <p>②現在教育相談コーディネーターが1名で、各学年に配置する体制にはなっていない。現在特に問題となることはないが、相談件数が増加した場合には、課題が顕在化すると思われる。</p>	<p>(保護者)</p> <p>①学校行事や部活動で充実した活動ができた。</p> <p>②心の悩みや学習上の悩みなどについて、相談ができた。 (学校評議員)</p> <p>①部活動で生徒が主体的に取り組む頑張っている。今後の向上を期待する。 (その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>本目標に対して、評価の観点から目標は概ね達成されたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育祭・文化祭などの学校行事や部活動において、生徒が主体的に取り組むことができた。 スクールカウンセラーによるカウンセリングを毎月実施し、相談機会を提供することができた。また、コア・ケース会議やケース会議を設定して全職員で情報を共有することができた。(改善方策等) 引き続き、各種学校行事や部活動を通じて、生徒が自ら考え、主体的に活動できる体制づくりを目指す。 引き続き、個々の生徒の支援につながる体制の充実に努める。

<p>きめ細かな学習指導が出来るよう指導内容を工夫し、基礎学力の定着を図る。また、課題を解決するために必要な諸能力を育成し、発展的学習への取組を支援するとともに、更なる組織的な授業改善の取組を進める。</p>	<p>①少人数の学級編成による授業展開や指導内容のさらなる工夫により、基本的な学習態度を確立させ、基礎学力の定着を図る。 ②発展的学習への生徒の積極的な取組への支援を通じて、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の諸能力を育成する。 ③授業のさらなる工夫・改善を組織的・計画的に進める。</p>	<p>①生徒の学習態度や基礎的な学力の向上が見られたか。 ②生徒の課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の諸能力が向上したか。 ③組織的な授業改善の取組を通じて、授業の更なる工夫・改善ができたか。</p>	<p>①1年次においては9クラスを10クラス展開で実施し、基礎学力の定着と生徒の基本的な学習態度の確立に努めた。 ②生徒の発展的な学習を支援するためにさらに夏期講習を充実させ、学校設定科目の充実に向けた検討を進めた。 ③生徒による授業評価を2回実施し、それを参考にして研究授業を複数の教科で実施した。</p>	<p>①1年次における9クラス10展開は基礎力の定着や学習態度の確立に効果があった。 ②夏期講習についてはさらに充実させて生徒の積極的な学習を支援したい。 ③研究授業や授業評価を受けての授業改善に対する職員研修の内容をさらに充実させたい。</p>	<p>(保護者) ①少人数学習など、きめ細かな学習指導を受けられた。 ②発展的学習内容を重視した授業を受けられた。 (学校評議員) ②③生徒が学習で自分のわからない点について、自らが課題解決をしていく取組に期待する。 (その他)</p>	<p>(学校評価) 本目標に対して、評価の観点から目標は概ね達成されたと評価する。 ・少人数の学級編成による授業展開により基礎学力の定着を図ることができた。 ・生徒の発展的な学習を支援するために夏期講習を充実させた。 ・組織的な授業改善の取組を通じて、授業の指導内容の工夫・改善が進められた。 (改善方策等) ・引き続き、少人数学習によるきめ細かな学習指導を通じて、基礎学力の定着を図る。 ・引き続き、家庭学習の習慣化の指導を通じて、基礎学力のさらなる定着を図る ・生徒の発展的な学習を支援するために、夏期講習をさらに充実させて生徒の積極的な学習を支援する ・研究授業や授業評価を受けての授業改善に対する職員研修の内容をさらに充実させる。</p>
--	---	--	--	---	--	---

<p>生徒一人ひとりの潜在的キャリア能力を引き出し、段階的に育成することを旨とし、主体的な進路選択と進路実現に向けより一層の支援を図る。</p>	<p>①「キャリア教育実践プログラム」の実践を通して、生徒が自己を理解する力・拓く力を育む。また、潜在的キャリア能力を引き出す段階的な育成を計画的に進める。</p> <p>②各学年の段階にそって、生徒個々の進路実現に向けて、生徒が主体的に考え、行動できるようにプログラムの充実を図り、支援する。</p> <p>③キャリア・カウンセリング機能及び進路支援体制・環境の充実を図る。</p>	<p>①「キャリア教育実践プログラム」の見直しを図りながら、計画的な実践により、生徒のキャリア能力を引き出すことができたか。また、その能力を段階的に向上することにつながることができたか。</p> <p>②保護者との連携を深め、主体的に考え、行動できるように生徒の支援につなげることができたか。</p> <p>③各学年の協力のもと、きめ細かな進路支援を図れたか。</p>	<p>①「キャリア教育実践プログラム」として、各学年段階に合わせ、キャリアガイダンス、外部業者テスト、インターンシップ、就職講座等を実施し、生徒が自分の適性を見つめ理解し、潜在的な能力を引き出し、進路を切り拓く力を身につけられるよう努めた。</p> <p>②各学年の保護者向け進路説明会を実施し、保護者への情報提供を行い、連携した生徒への進路支援に努めた。</p> <p>③「進路のしおり」の発行時期を早め、各学年の生徒の進路支援体制の充実を図った。</p> <p>④客観的な学力診断の把握・向上及び学習の取り組み状況の改善を図るために、外部業者テストを導入し、各学年との連携のもと、進路及び学習取り組みに向けての生徒の進路支援に努めた。</p> <p>⑤進路室を生徒のニーズに合わせて自習室整備を進めた。</p>	<p>①「キャリア教育実践プログラム」の改善を職員キャリア研修会や学年会・職員会議を通して協議し、常に生徒の変化に合わせて改善する必要がある。</p> <p>②各学年の保護者向け進路説明会の内容・時期を要望に答えて開催し保護者と連携した生徒進路支援にあたる。</p> <p>③昨年度、初発行した「進路のしおり」を改善し、保護者・生徒の進路支援に役立つ本校独自の「しおり」を適切な時期に発行する。</p> <p>④昨年度導入した外部業者テストを検証し、次年度さらに本校生徒・保護者に求められている形態での実施を目指す、実施形態を検討・改善していく必要がある。</p> <p>⑤生徒の希望進路実現のための環境整備として進路室及び自習室の充実を進める必要がある。</p>	<p>(保護者)</p> <p>②④⑤進路説明会やガイダンスなどで、きめ細かな進路指導を受けられた。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>①②③④きめ細かな進路指導がなされ、進路に力を入れていることがうかがえる。</p> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <p>本目標に対して、評価の観点から目標は概ね達成されたと評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の変化に合わせて、「キャリア教育実践プログラム」の改善を進めた。 各学年の保護者との連携を深め、生徒の進路支援に努めた。 キャリア・カウンセリング機能及び進路支援体制・環境の充実を図り、きめ細かな進路支援に努めた。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生徒の変化に合わせて、「キャリア教育実践プログラム」の改善に努める。 引き続き、生徒の実態に応じたきめ細かな進路指導の充実を努める。 生徒の希望進路実現のための環境整備として進路室及び自習室の充実を図る。
--	--	--	---	--	---	---

<p>保護者や地域との協働・連携を深め、地域に根ざした多様な教育活動を進展させる。</p>	<p>①みどり養護学校分教室や地域との協働・連携に基づく教育活動において、生徒の主体的な取組の更なる充実を図る。 ②学校行事を通して、学校とPTAとの協働の充実を努める。 ③地域の協力を得た実習や部活動の地域交流等の充実を図る。</p>	<p>①みどり養護学校分教室や地域との協働・連携に基づく教育活動において、生徒が主体的に取り組むことができたか。 ②学校行事を通して、学校とPTAとの協働を図り、充実させることができたか。 ③地域での実習や地域交流等を充実させることができたか。</p>	<p>①体育祭や文化祭等の学校行事において、みどり養護学校分教室との協働が深まり、生徒は更に主体的に取り組むことができた。また、校外清掃、地域貢献活動等、多彩な教育活動においても、地域との協働に積極的に関わることができた。 ②PTAの学校行事への参加や広報紙の発行等、PTAとの協働を通じて、本校の教育活動を充実させることができた。特に合格者説明会では、新たに交通安全の啓発活動に取り組んだ。 ③保育の授業における地域の協力を得た授業の実習や地域に根ざした部活動の交流等を実施し、充実を図ることができた。特に美術部、イラスト部は地域交流の成果により、県から表彰された。</p>	<p>①引き続き、みどり養護学校分教室との協働や地域との協働・連携に基づく教育活動において、生徒の主体的に取組みの充実を図る。 ②引き続き、PTAの協働を図り、充実させていく。 ③引き続き、地域と協力を得た授業の充実を図るとともに、部活動等においても、地域との協働を深めていく。</p>	<p>(保護者) ②学校はPTA活動に熱心に取り組んでいる。 (学校評議員) ①③小中高の地域連携ができていることは珍しい。 ③開かれた学校づくりが行われている。今後も生徒を地域で育てていく教育を進めてもらいたい。 (その他)</p>	<p>(学校評価) (改善方策等) 本目標に対して、評価の観点から目標は達成されたと評価する。 ・学校・PTAの協働・連携を深め、充実した活動が行われた。 ・地域に根ざした多様な教育活動を進展させることができた。 (改善方策等) ・今後もPTAや地域との協働・連携を深めていく中で、多様な教育活動を進展させていく。</p>
---	--	--	--	---	---	---

<p>教職員の実践的指導力を高め、安全対策を強化し、信頼される学校づくりを一層進める。</p>	<p>①OJTの計画的・組織的な展開について検討し、推進する。 ②日常の学校施設設備等の安全点検マニュアル・防犯マニュアルを改善する。 ③教育活動全体を通じて防災教育・いのちの教育を一層充実させる。 ④地震防災活動マニュアルの改善と防災資機材の充実に努める。 ⑤地域と連携した防災体制の整備を推進する。 ⑥私費会計マニュアルの改善と会計処理の適正化に努める。</p>	<p>①OJTの計画的・組織的な展開により、教職員の実践的指導力は高まったか。 ②学校施設設備等の安全点検マニュアル、防犯マニュアルの改善により、安心安全な学校づくりは進められたか。 ③避難訓練は実践的なものであったか。防災教室等の実施を通じて、生徒の防犯意識や自他の命を守る意識を高めることができたか。 ④地震防災活動マニュアルと防災資機材は、実践的で有効なものとなったか。 ⑤防災体制の整備は地域と連携して進められたか。 ⑥私費会計マニュアルの改善は適切であったか。また学校会計は適正に処理できたか。</p>	<p>①教職員対象の不祥事防止研修会、人権研修会、進路研修会などを計画的に実施した。また、若手を始めとした職員の研修を組織的計画的に行った。 ②学校施設等の安全点検を行った。学校安全に関する計画を確認し、安全点検マニュアル・防犯マニュアルの改善を検討した。 ③年間2回の防災教室等の実施を通じて、非常時に備えるとともに防災教育の充実に努めた。 ④防災資機材を補充し、今年度の学校防災マニュアルを策定した。 ⑤地域の防災会議や訓練に参加し、地域と連携した防災体制の整備に努めた。 ⑥予算・会計ハンドブックに則り、私費会計の適正な処理に努めた。また、年度末に補正予算を組み、PTAとも連絡を密にし、適正な執行に努めることができた。</p>	<p>①今後も継続して、総合教育センターと一体となって職員の研修を行い、信頼される学校づくりを進める。 ②安全点検マニュアルの運用に努める。今後さらに、地域の協力もいただきながら、生徒の安全確保に努める。 ③今後も継続して防災教育の充実に努める。 ④本校の実態と必要に応じ、防災資機材の整備・補充をすすめる。 ⑤今後も継続して地域と連携した防災の整備に努める。 ⑥今後も適正執行が行われるように学校徴収金運営協議会の機能の充実に努める。</p>	<p>(保護者) ②③④学校は生徒の安全に配慮した取組を積極的に行っている。 (学校評議員) ①今後も事故防止の徹底に努めてもらいたい。 (その他)</p>	<p>(学校評価) 本目標に対して、評価の観点から目標は概ね達成されたと評価する。 ・教職員の実践的指導力の向上に努めた。 ・生徒の安全に関する教育と対策に努めた。 ・地域と連携した防災体制の整備に努めた。 ・私費会計の適正な執行に努めた。(改善方策等) ・引き続き、計画的・組織的な教職員研修の充実に進めていく。 ・引き続き、学校全体で事故防止の意識を高め、徹底を図っていく。 ・引き続き、生徒の安全に努め、信頼される学校づくりを進める。</p>
---	---	--	---	--	--	--

教育目標・教育方針・中長期な方針など
○豊かな心を育み充実感の得られる学校をめざす。
○家庭や地域との連携を深め信頼される学校をめざす。
○安全で健やかに生活できる環境をめざす。